

平成22年2月期第2四半期

決算説明資料

株式会社市進

【お問い合わせ先】

株式会社市進 広報宣伝部

TEL 03-5840-9837

FAX 03-3816-9371

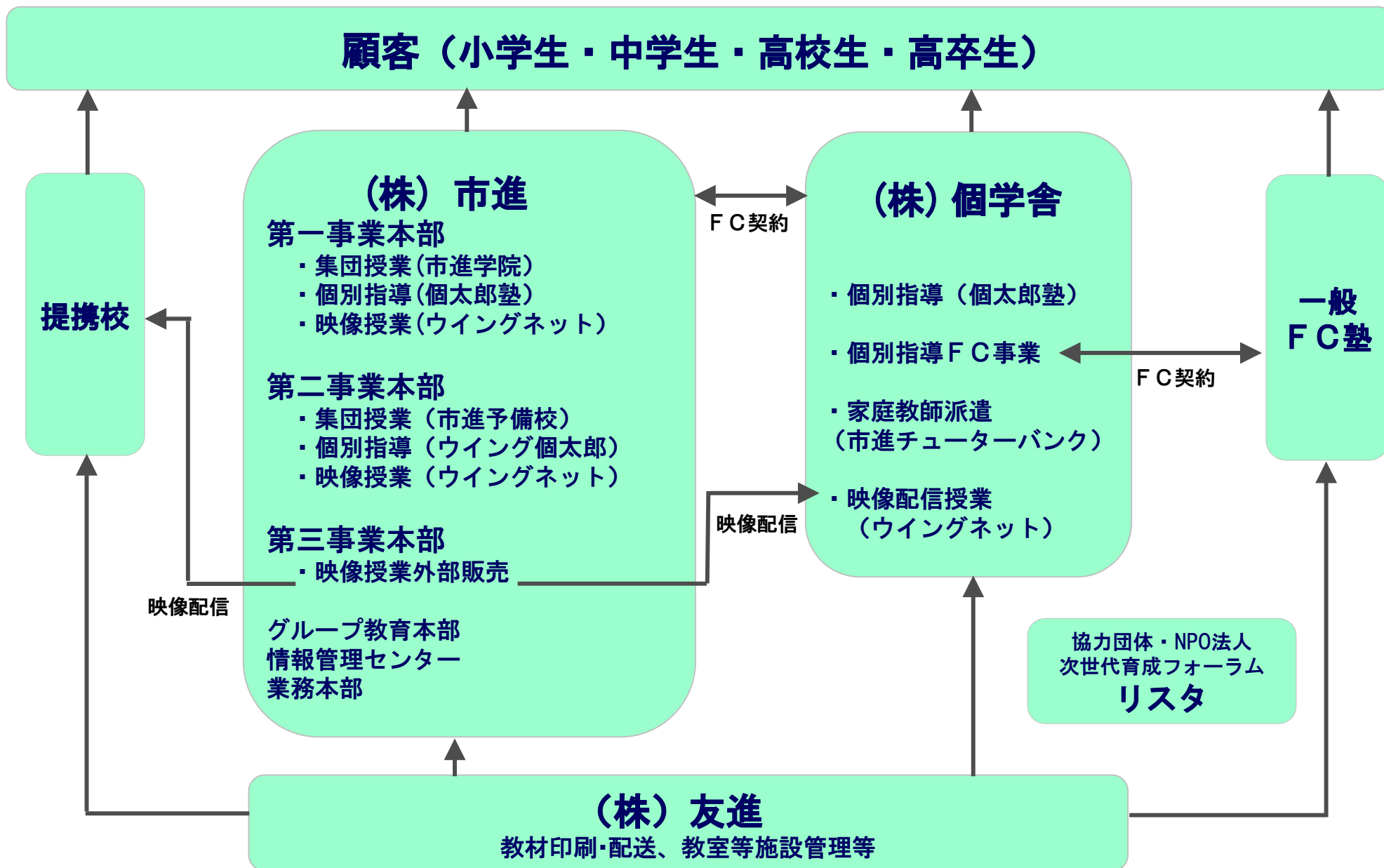
E-mail kouhou@ichishin.co.jp

URL <http://ir.ichishin.co.jp/>

1. 市進教育グループ（今期組織図）



株式会社 **市進**



2. 連結業績（2Q予想と実績）

（単位：百万円）							
	平成22年2月期 第2四半期					平成21年2月期 中間	
（単位：百万円）	予想値	実績値	対売上比（%）	予実達成率（%）	対前年同期比	実績値	対売上比（%）
売上高	9,940	9,691	100.0%	97.5%	-1.4%	9,832	100.0%
売上原価	—	8,380	86.5%	—	0.1%	8,370	85.1%
売上総利益	—	1,311	13.5%	—	-10.3%	1,462	14.9%
販管費	—	1,359	14.0%	—	0.7%	1,349	13.8%
営業利益	22	-48	-0.5%	—	—	112	1.1%
経常利益	32	-43	-0.4%	—	—	119	1.2%
当期純利益	-50	-113	-1.2%	—	—	-177	-1.8%

- ◆ 個別授業、映像授業の生徒数は増加したが、生徒集団授業の生徒数減の影響で売上高も微減。
- ◆ 新拠点への設備投資、拠点リニューアルなど将来の集客増加へ向けた先行投資を積極的に実施したため、例年以上に営業費が増加。

3. 部門別売上高（連結）

（単位：百万円）

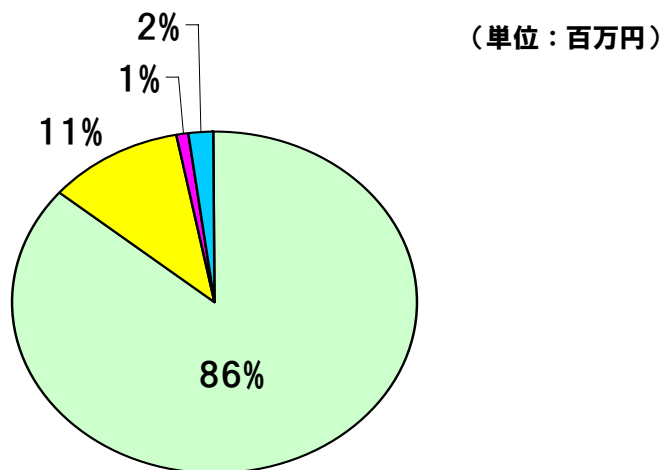
部門（業態別）	平成21年2月期中間	平成22年2月期 2 Q	前年同期比	平成21年2月期
集団授業	8,454	7,820	-7.5%	16,979
個別授業	1,082	1,237	14.3%	2,523
映像授業	109	507	365.1%	229
その他	186	126	-32.3%	129
合計	9,832	9,691	-1.4%	19,861

（注） その他：主に受験ガイドなどの出版に係る売上

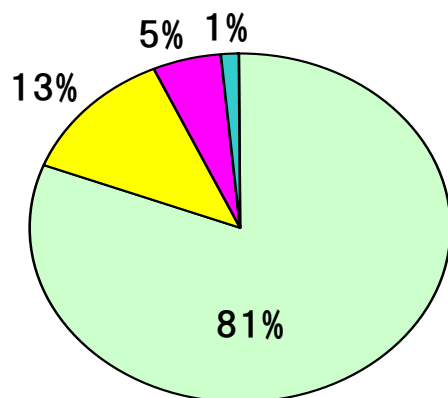
- ◆ 高校生、中学生ともに成績中堅層の生徒が個別授業に流れる傾向が続き集団授業が減少。推薦入試、AO入試の影響で個別授業で学校の成績アップ対策のニーズが高まっている。
- ◆ 個別授業は「集団から個別へ」というニーズの変化で堅調。市進学院併設の個太郎塾で集団授業と個別授業の併用利用者も順調に増加。
- ◆ 映像授業は市進内部の生徒、加盟校の生徒ともに順調に増加。来期に向けても売上げ期待できる部門。

4. 部門別売上高推移

平成21年2月期 2Q



平成22年2月期 2Q



■ 集団授業 ■ 個別授業 ■ 映像授業 ■ その他

● 集団授業

【 売上高 前期比7.5%減の7,820百万円 】

集団授業受講者の減少、講座の一部を
集団授業からウイングネット講座へ移行。

※ 拠点数市進学院117教室、市進予備校17教室。

● 個別授業

【 売上高 前期比14.3%増の1,237百万円 】

市進学院に併設の個太郎塾の拠点数増加。
集団授業との併用者の増加。

※ 拠点数196教室。

● 映像授業

【 売上高 前期比365.1%増の507百万円 】

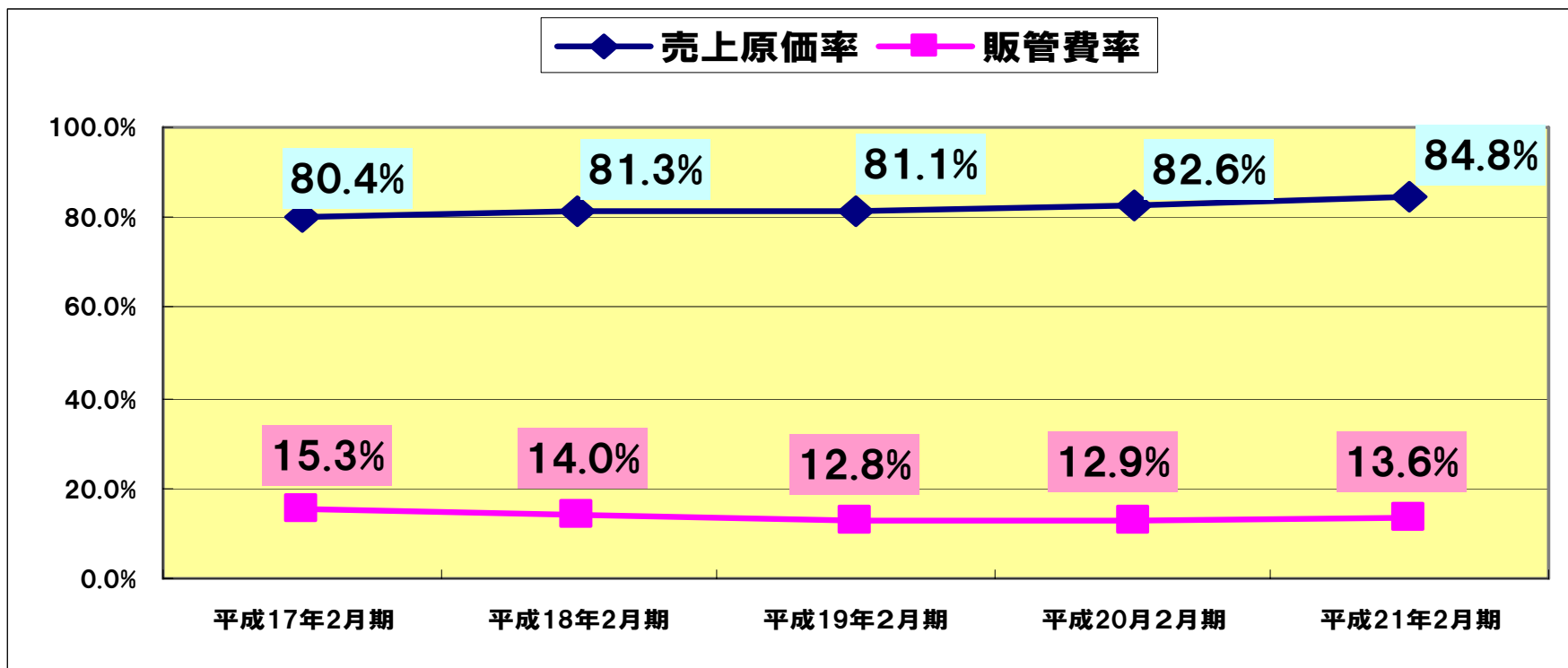
映像授業講座受講生の増加。

ウイングネット加盟校の増加で外部販売が
好調。

● その他

【 売上高 前期比32.2%減の126百万円 】

5. 原価率及び販管比率の推移



	平成19年2月期	平成20年2月期	平成21年2月期	平成22年2月期2Q
売上高	19,986	20,127	19,861	9,691
売上原価	16,201	16,627	16,841	8,380
売上原価率	81.1%	82.6%	84.8%	86.4%
販管費	2,566	2,603	2,709	1,359
販管費率	12.8%	12.9%	13.6%	14.0%

6. 主な経営指標等の推移（連結）

	19年2月期 中間（33期）	20年2月期 中間（34期）	21年2月期 中間（35期）	22年2月期 第2四半期 （36期）	21年2月期 期末（35期）
売上高（百万円）	9,988	9,949	9,832	9,691	19,861
経常利益（百万円）	561	391	119	△43	343
当期純利益（百万円）	△331	68	△177	△113	△72
純資産額（百万円）	5,398	5,395	5,117	5,014	5,207
総資産額（百万円）	11,689	11,881	10,756	11,461	10,809
経常利益率（％）	5.6	3.9	1.2	—	1.7
1株当たり純資産額（円）	565.25	564.90	598.54	586.47	609.08
1株当たり当期純利益（円）	△34.71	7.12	△20.08	△13.30	△8.30
自己資本比率（％）	46.2	45.4	47.6	43.8	48.2
自己資本利益率（％）	—	1.3	—	—	—

7. 連結貸借対照表（前期末・当第2四半期比較）

（単位：百万円）

資産の部			負債の部		
科目	金額 (前期末)	金額 (当第2四半期)	科目	金額 (前期末)	金額 (当第2四半期)
流動資産	4,094	4,725	流動負債	3,198	3,877
			固定負債	2,403	2,569
固定資産	6,714	6,735	負債合計	5,601	6,446
有形固定資産	2,307	2,343	純資産の部		
無形固定資産	151	211	株主資本	5,588	5,389
投資その他の資産	4,255	4,181	評価・換算差額等	△381	△375
			純資産合計	5,207	5,014
資産合計	10,809	11,461	負債及び純資産 合計	10,809	11,461

【資産の部】

総資産11,461百万円で全連結会計年度比6.0%増
(主な要因は前受金の増加による)

【負債の部】

負債合計は6,446百万円で全連結会計年度比
15.1%増
(主な要因は前受金の増加による)

8. キャッシュフロー計算書



株式会社市進

	前中間連結会計期間 (平成20年3月1日 ～平成20年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (平成21年3月1日 ～平成21年8月31日)	前連結会計年度の 連結キャッシュフロー計算 (平成20年3月1日 ～平成21年2月28日)
区分	単位 (百万円)	単位 (百万円)	単位 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュフロー	△689	193	146
II 投資活動によるキャッシュフロー	△103	△210	△649
III 財務活動によるキャッシュフロー	△76	546	△613
IV 現金及び現金同等物の増加 (△は減少)	△869	529	△1,116
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,759	1,643	2,759
VI 現金及び現金同等物の 中間期末 (期末) 残高	1,889	2,172	1,643

9. 業績予想の修正について

- 集団授業(市進学院・市進予備校)の生徒数の減少
- 映像授業の授業料単価が予定価格に届いていない
- 拠点リニューアルなど、将来の集客増加へ向けた先行投資の実施

	単位	平成21年2月期 実績	平成22年2月期 予想	平成22年2月期 修正後予想	前年対比
売上高	(百万円)	19,861	20,630	19,740	99.0%
経常利益	(百万円)	343	825	339	98.8%
四半期純利益	(百万円)	△ 72	308	51	—
1株当たり当期純利益	(円)	△ 8.30	36.02	5.96	—
売上高経常利益率	(%)	1.7%	4.0%	1.7%	98.8%
年間配当	(円)	10	10	10	100.0%

● 市進グループ選べる教育システム「学びMAX」の推進

- ・ 集団授業＋個別授業の併用受講の拡大
- ・ 「ベーシックウイング(教科書対応映像等)の配信強化
- ・ 成績中間層の集客強化(部活動との両立可能商品の提供)

● Z会グループとの商品相互活用

- ・ 大学受験用コンテンツの配信講座種類の増加
- ・ 高校受験用コンテンツの相互利用開始

● ウイングネット外部販売

- ・ 配信コンテンツのバリエーション拡大による加盟校の増加
- ・ 生徒売上げ単価の増加(学校成績アップのための講座追加)

● 経費節減のさらなる推進

- ・ 生産性の向上の見直し
- ・ 映像授業、個別授業の活用により集団授業クラス数を調整

11. (株)市進単体 4大経費推移

ご参考

(単位:百万円)

		平成18年 2月期中間	平成19年 2月期中間	平成20年 2月期中間	平成21年 2月期中間	平成22年 2月期第2四半期
売上高		9,051	9,144	9,010	8,926	8,802
教材・印刷費	計上額	691	671	622	624	686
	売上対比	7.6%	7.3%	6.9%	7.0%	7.8%
広告宣伝費	計上額	752	630	604	653	645
	売上対比	8.3%	6.9%	6.7%	7.3%	7.3%
人件費	計上額	4,741	4,706	4,809	4,890	4,786
	売上対比	52.4%	51.5%	53.4%	54.8%	54.4%
施設費	計上額	1,619	1,635	1,644	1,698	1,746
	売上対比	17.9%	17.9%	18.2%	19.0%	19.8%
合計	計上額	7,805	7,643	7,681	7,867	7,866
	売上対比	86.2%	83.6%	85.2%	88.1%	89.4%

持株会社化(2010年3月より移行)

市進グループの経営機能とコーポレートガバナンスの強化

- ・経営のスピードアップ
- ・経営資源の適切な配分
- ・グループ会社間のシナジー強化

意思決定機能の迅速化

- ・適切な人材配置
- ・人材育成、新規事業への積極投資
- ・間接部門、重複事業の効率化

機能的な企業再編・組織再編

- ・事業再編、組織再編など経営構造変革のスピードアップを図る
- ・積極的な企業再編、戦略的な業務提携を可能にする



平成22年3月1日をもって
(株)市進ホールディングス
に商号変更予定

(株)市進

第一事業本部 市進学院を運営

第二事業本部 市進予備校を運営

第三事業本部 市進ウイングネット等
映像授業を販売

グループ教育本部

グループ内各社に営業統括・教育
研修・教材制作などの支援サービス
を提供

情報管理センター

グループ内各社にOAシステム管理・
受験情報集約・採点業務代行など
の支援サービスを提供

業務本部その他

人事・経理・総務などの代行業

(株)個学舎・・・100%子会社
個別指導事業を運営(直営+フランチャイズ)

(株)友進・・・100%子会社
グループ内各社に教材印刷・配送・施設管理等のサービスを提供

(株)市進準備会社・・・100%子会社 **新設**
*平成22年3月1日をもって(株)市進に商号変更予定

(株)市進ウイングネット・・・100%子会社 **新設**

(株)市進総合研究所・・・100%子会社 **新設**